



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東
コード番号 4020 URL <https://www.betrend.com>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 英昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 穂谷野 一敏 TEL 03-6205-8145
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 800 | △2.3 | 59 | △49.9 | 59 | △49.4 | 39 | △50.6 |
| 2022年12月期第3四半期 | 818 | 10.3 | 118 | 201.8 | 116 | 198.5 | 80 | 207.8 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 18.07 | 17.76 |
| 2022年12月期第3四半期 | 37.00 | 35.98 |

（注）当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 929 | 831 | 89.4 |
| 2022年12月期 | 941 | 789 | 83.9 |

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 831百万円 2022年12月期 789百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年12月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,090 | 0.1 | 93 | △36.7 | 93 | △36.4 | 62 | △37.4 | 28.63 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期3Q | 2,196,600株 | 2022年12月期 | 2,183,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期3Q | 0株 | 2022年12月期 | 0株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期3Q | 2,193,741株 | 2022年12月期3Q | 2,167,938株 |

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、決算説明の動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第3四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |
| (収益認識関係) | 6 |
| (重要な後発事象) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安傾向や国際情勢の変動、労働人口の減少により不透明な状況が継続しました。小売業や飲食業が主要顧客である当社を取り巻く経営環境においては、サプライチェーンの悪化に伴う原材料価格や光熱費の高騰、人手不足による賃上げ等による商品価格の値上げなどの対応の施策を余儀なくされました。このような環境の中、国内企業のデジタル変革(DX)の業務対象は様々な分野にわたり、業務生産性向上への投資意欲は引き続き底堅く、企業の情報化投資は当面堅調に推移するものと見込まれております。

当社においては、当四半期から開始したソリューション連携プログラムである「betrend connect」による大手販売パートナーとの共同提案が大きく増加し、効率的な販売活動を推進しました。新規案件では、大手飲食チェーン、菓子小売業等の新規顧客からの受注がありました。然しながら、大・中規模チェーン店対象案件は発生から納品まで約半年間～約1年間のサイクルであるため、2021年から2022年の過去2年間の新型コロナウイルス感染症による当社の対象となる顧客からの新規案件の減少や検討期間の長期化等に伴い、当第3四半期累計期間に導入計上できる案件が少ない状態が続きました。

2023年9月末時点でのCRMサービス全体のARR(注1及び注2)は、916,073千円(前年同期比0.7%増、6,328千円増)となりました。

主力サービスであるスマートCRMサービスのARRは、681,701千円(同3.7%増、24,636千円増)に増加しました。メールマーケティングサービスのARRは234,372千円(同7.2%減、18,307千円減)と減少しました。

2023年9月末時点での会員数(注3)は、スマートCRMサービス導入企業による積極的な会員獲得の活動により、29,492,533名となりました。これに伴い従量料金の売上も増加し、スマートCRMサービスの売上の増加に寄与いたしました。

2023年9月末時点での主力のスマートCRMサービス契約社数は、2022年9月末以降、小売業を中心に様々な業種業態での新規案件が獲得でき16社増加した一方、12社の解約があったため、全体では179社と前年同期と比べ4社の増加となりました。メールマーケティングサービスの契約社数は2022年9月末以降13社減少し436社となり、CRMサービス全体としては、契約社数615社となりました。

初期費用、カスタマイズ開発、SMS(ショートメッセージ)費用等で構成されるカスタマイズサービスについては、既存導入先の新機能追加時のソフトウェア開発による売上が中心となりました。その結果、カスタマイズサービス全体の売上としては92,682千円(同32.7%減、45,035千円減)となりました。

決済手数料、DM印刷売上等のその他サービス(注2)については、決済手数料が安定的に売上を上げる一方、DM印刷売上については、印刷事業者の値上げによるコスト高など紙の郵送DM自体の需要減に伴い、前年同期比売上減となり、その他サービス全体としては売上減となりました。

売上原価については、サービス提供に関わるソフトウェアの自社開発に伴い外部へのライセンス費用は大幅に減少しましたが、システムの信頼性向上やセキュリティ強化への投資を継続的に行ったためデータセンターに関する費用及びサービス構築に関わる外注費用が増加し、前年同期に比べ9,293千円増加、原価率は2.3ポイント増加しました。販売費及び一般管理費については、人件費、業務委託費、教育研修費等が増加しました。また、監査法人変更に伴う前監査法人の監査工数増による追加費用等が第1四半期に6,136千円生じたため、第3四半期累計期間としては支払報酬全体として前年同期に比べ6,720千円の増加(前年同期比32.9%増)となり、販売費及び一般管理費全体としては、31,225千円の増加(同10.1%増)となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は800,317千円(前年同期比2.3%減)、営業利益は59,139千円(前年同期比49.9%減)、経常利益は59,058千円(同49.4%減)、四半期純利益は39,634千円(同50.6%減)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) ARR(Annual Recurring Revenue):年間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量課金や店舗毎課金を組み合わせた年間契約で提供することで獲得する年間契約金額です。

当社では、以下の計算式で算出しております。

期末ARR = 期末月のMRR × 12

MRR(Monthly Recurring Revenue):年間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量課金や店舗毎課金を組み合わせて提供することで獲得する月間契約金額です。売上高のうちリカーリングの性質の売上高を月額で表した金額です。

(注2) 前事業年度(2022年12月期)まで、その他サービスに計上していたコールセンターサービス売上は、本事

業年度よりスマートCRMサービス売上に移行しています。そのため当第3四半期の前年同期比（増加率、増加額）を計算する際の前年同期ARRには、コールセンターサービス売上を含んでいます。

（注3）当第3四半期より計測方法の変更を行ったことで、より精緻な会員数を得られることとなったため、変更後の新たな方法で集計した数を記載しております。なお、同方法は前期以前へ遡及して集計することができないため、前年（2022年12月期）同期との増減率、増減数について記載しておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は749,062千円となり、前事業年度末に比べ7,270千円の増加となりました。これは主に、その他流動資産の増加18,606千円、受取手形及び売掛金の減少5,709千円によるものであります。

固定資産は180,658千円となり、前事業年度末に比べ19,040千円の減少となりました。これは主に、減価償却等によるソフトウェアの減少21,075千円、ソフトウェア仮勘定の増加19,177千円によるものであります。

これらの結果、資産合計は929,720千円となり、前事業年度末に比べ11,770千円の減少となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は74,168千円となり、前事業年度末に比べ53,800千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少37,372千円によるものであります。

固定負債は24,026千円となり、前事業年度末に比べ51千円の増加となりました。

これらの結果、負債合計は98,195千円となり、前事業年度末に比べ53,749千円の減少となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は831,525千円となり、前事業年度末に比べ41,979千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加39,634千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期業績予想につきましては、第3四半期の月次進捗及び受注済み案件等から推測できる通期着地見込みを精査した結果、業績予想の修正が必要と判断したため前回発表した業績予想の修正を行うものであります。

詳細につきましては、本日（2023年11月14日）公表いたしました「2023年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 595,928 | 591,722 |
| 受取手形及び売掛金 | 109,888 | 104,179 |
| 仕掛品 | 4,584 | 3,362 |
| その他 | 31,390 | 49,997 |
| 貸倒引当金 | △1 | △199 |
| 流動資産合計 | 741,791 | 749,062 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 25,415 | 23,067 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 82,103 | 61,028 |
| ソフトウェア仮勘定 | 3,980 | 23,157 |
| その他 | 350 | - |
| 無形固定資産合計 | 86,433 | 84,185 |
| 投資その他の資産 | 87,850 | 73,404 |
| 固定資産合計 | 199,699 | 180,658 |
| 資産合計 | 941,490 | 929,720 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 33,210 | 32,828 |
| 未払法人税等 | 37,372 | - |
| その他 | 57,386 | 41,339 |
| 流動負債合計 | 127,969 | 74,168 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 23,975 | 24,026 |
| 固定負債合計 | 23,975 | 24,026 |
| 負債合計 | 151,944 | 98,195 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 314,937 | 316,110 |
| 資本剰余金 | 244,937 | 246,110 |
| 利益剰余金 | 229,670 | 269,304 |
| 株主資本合計 | 789,546 | 831,525 |
| 純資産合計 | 789,546 | 831,525 |
| 負債純資産合計 | 941,490 | 929,720 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 818,782 | 800,317 |
| 売上原価 | 390,840 | 400,133 |
| 売上総利益 | 427,942 | 400,183 |
| 販売費及び一般管理費 | 309,818 | 341,043 |
| 営業利益 | 118,124 | 59,139 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | 275 | - |
| その他 | 82 | 51 |
| 営業外収益合計 | 357 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25 | - |
| 株式交付費 | 1,636 | 126 |
| その他 | 8 | 6 |
| 営業外費用合計 | 1,670 | 132 |
| 経常利益 | 116,811 | 59,058 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 350 |
| 特別損失合計 | - | 350 |
| 税引前四半期純利益 | 116,811 | 58,708 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 35,905 | 16,708 |
| 法人税等調整額 | 692 | 2,365 |
| 法人税等合計 | 36,598 | 19,073 |
| 四半期純利益 | 80,213 | 39,634 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金が1,172千円、資本準備金が1,172千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が316,110千円、資本準備金が246,110千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

| | betrend事業 |
|---------------|-----------|
| サービス別 | |
| CRMサービス | 663,552 |
| カスタマイズサービス | 137,718 |
| その他サービス | 17,511 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 818,782 |
| その他の収益 | — |
| 外部顧客への売上高 | 818,782 |

当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

| | betrend事業 |
|---------------|-----------|
| サービス別 | |
| CRMサービス | 700,512 |
| カスタマイズサービス | 92,682 |
| その他サービス | 7,122 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 800,317 |
| その他の収益 | — |
| 外部顧客への売上高 | 800,317 |

(注) 第1四半期会計期間より、従来「その他サービス」に含めておりましたコールセンターサービス売上は、サービス区分の見直しを行ったため、「CRMサービス」に区分して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間について注記の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間において、組替え前に比べ「CRMサービス」が8,169千円増加、「カスタマイズサービス」が204千円増加、「その他サービス」が8,374千円減少しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について以下のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を図るため

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類
普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数
50,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.3%)
- (3) 株式の取得価額の総額
50,000千円(上限)
- (4) 取得期間
2023年11月15日から2024年5月31日
- (5) 取得方法
東京証券取引所における市場買付